

令和 7 年 1 月 1 5 日
配布：県政記者クラブ
黒部市政記者クラブ
取扱：配布を以て解禁

件 名	第 6 1 回黒部川ダム排砂評価委員会の開催について
-----	----------------------------

お 知 ら せ 内 容

1. 開催日時

令和 7 年 1 月 2 2 日（水） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0（終了時間は目安）

2. 開催場所

ボルファートとやま 4 階 琥珀の間

住所：富山県富山市奥田新町 8 - 1

電話：(076) 431-1113



第 60 回黒部川ダム排砂評価委員会
（令和 6 年 3 月 25 日開催）

3. 議事内容

○令和 6 年度連携排砂および連携通砂の実施結果について

○令和 6 年度連携排砂および連携通砂に伴う環境調査結果について

4. その他

○会議は公開で行いますが、テレビカメラ、写真撮影等は会議の進行上、議事開始までとさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

○会議終了後に、議事及び評価結果に関する質疑応答をボルファートとやま 3 階
会場名：【エメラルド】にて行います。

・国土交通省北陸地方整備局 黒部河川事務所 副所長（技術）
土砂管理課長

大井 哲哉
寺崎 賢一
TEL: 0765 (52) 1122 (代)

・関西電力株式会社 北陸支社 コミュニケーション統括グループ リーダー

松本 義宏
佐藤 一二三
TEL: 070 (2440) 9277

1. 連携排砂とは

黒部川は、全国でも有数の流出土砂量の多い河川であることから、6月1日から8月31日までの間において、所定の流量以上の出水期に、ダムに堆積した土砂を下流に流下させるため、出し平ダム(関西電力)は、宇奈月ダム(国土交通省)と「連携排砂」を実施しています。連携排砂を実施することで、ダムが有する機能である[治水・利水(発電等)]を適切に維持することができます。また土砂を流下させる事は進行する海岸侵食に対し砂浜の回復に寄与するとともに、河道内の河床低下を防止し下流地域の安全を守ります。

2. 黒部川ダム排砂評価委員会とは

連携排砂の実施にあたっては、学識経験者及び地域の意見を頂きながら実施しています。

黒部川ダム排砂評価委員会は、出し平ダム、宇奈月ダムの排砂に関する環境影響を評価することを目的に、当年度の連携排砂等に伴う環境調査が終了する1月頃、連携排砂実施期間前の3月頃に、年2回開催しています。今回の委員会では、6月23日～25日の連携排砂、6月30日～7月2日の連携通砂(1回目)、7月30日～8月1日の連携通砂(2回目)の実施結果・環境調査結果等につきまして、評価していただくこととなっております。

3. 黒部川ダム排砂評価委員会の概要

黒部川ダム排砂評価委員会は各種の環境項目に詳しい学識経験者によって構成されています。

黒部川ダム排砂評価委員会 委員名簿

	氏名	役職(専門分野)
委員長	たけうち あきら 竹内 章	富山大学名誉教授 (海洋地質学、構造地質学)
委員長 代行	くすい たかし 楠井 隆史	富山県立大学名誉教授 (水処理工学、環境毒性学)
委員	うおさき こうじ 魚崎 浩司	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 新潟拠点長 (水産資源)
	すずき ひろゆき 鈴木 洋之	北海学園大学 工学部 教授 (水工学)
	すみ てつや 角 哲也	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 特定教授 (水工水理学、ダム工学)
	たきもと ひろし 瀧本 裕士	石川県立大学 生物資源環境学部 教授 (利水工学)
	つじもと りょう 辻本 良	富山県農林水産総合技術センター 水産研究所 所長 (漁業)
	ただ くになお 多田 邦尚	香川大学 農学部 教授 (海洋科学)